

社名 : 株式会社 伸光テクノス	代表者名 : 木村 護
事業分野・内容 : 廃棄物の再資源化装置開発・製造・販売	得意な分野 : 廃棄物の再資源化

PRしたい技術・製品・サービス 1

【名称】 加水分解装置

【特徴・性能・適用分野】

加水分解処理は、亜臨界状態で廃棄物の処理を行い、約 30 分で有用な新たな製品を生産する再資源化装置です。原料を圧力容器に投入して容器内に約 1.85~2.0MPa の加圧水蒸気を注入し、200℃以上の高温状況で維持・攪拌しながら廃棄物を処理し、再資源化を行います。

＜処理対象原料＞

- ・一般家庭ゴミ(含むプラスチック)
- ・食品工場棟の活性汚泥
- ・下水処理汚泥
- ・放射能汚染瓦礫の処理
- ・畜糞

その他、様々な分野にご利用頂けます

＜装置の特徴＞

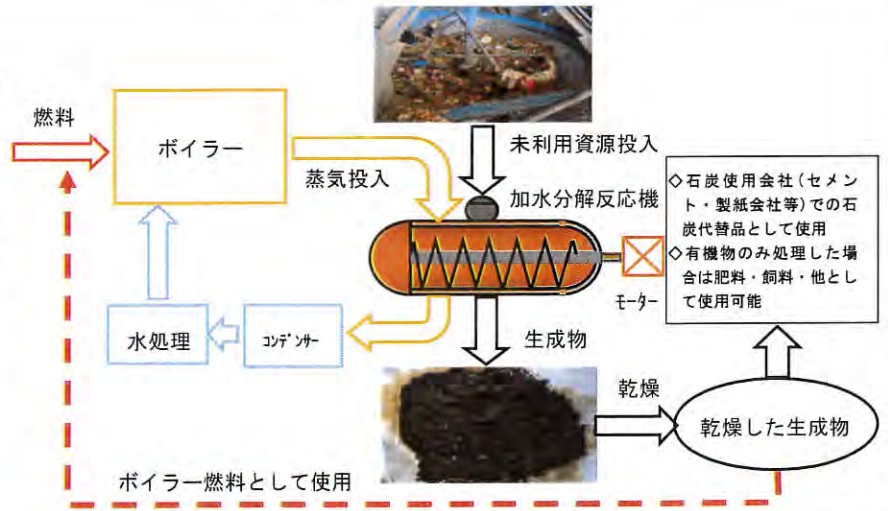
- ・処理後の生産物は、燃料・肥料・試料・他として有効利用可能
- ・熱効率が高く、経済的
- ・短時間処理(1 工程 2.5~3.5 時間)
- ・処理対象物に合せた運転の設定が可能
- ・密閉構造で悪臭が発生しない
- ・保守・点検・運転管理が容易



【導入するメリット/アピール・ポイント】

多種多様な廃棄物を、お客様のニーズに合わせて再資源化する事が可能です。

また、装置を稼働させる燃料として生産物を使用する事も出来、ランニングコストが抑えられます。



今後、インドネシア共和国において興味のある事業の形態(複数可)

- ①: 製品輸出・販売 B: 現地生産(自社工場/相手先工場/他) C: 技術面等での提携先探索(含 共同研究)
 D: 情報源(現地コーディネーター/ビジネス・アドバイザー)探索 E: その他(要記述)

具体的な事業形態 : 製品の販売、設置、組立、試運転

相手先としてイメージする企業・団体の業種・業態等 :

産業廃棄物処理業者、牛舎、養豚場、鶏舎、食品加工業者、肥料会社、セメント会社、製紙会社

【導入実績】(用途)

【国内】 合計8台、大学での研究用、肥料会社での肥料製造

【海外】 合計5台、都市ゴミからの燃料製造、肥料製造、大学での研究

主な保有特許

主な受賞歴

【名称】 廃プラスチック油化装置

【特徴・性能・適用分野】

プラスチック及び原油由来品を熱分解し、液体燃料、可燃性ガス、炭化物を生成する装置です。触媒を使用することで、タール分の少ない品質のよい軽質油・重質油の生成が可能です。

＜特徴＞

- ・パッチ式処理の為、プラスチックに限らず、廃プラスチック・廃タイヤ・廃漁網・医療性廃棄物の処理や携帯電話からの貴金属を回収する前処理まで、多目的に利用可能です。
- ・塩素系有害物質・ハロゲン系有害物質の処理にも対応できます。
- ・処理物にあわせて、最適な触媒を採用する事で、タール分の少ない油の生成が可能です。
- ・低燃費の装置であり、かつ、生成した液体燃料を熱源として使用する為、ランニングコストを非常に低く抑える事が可能です。
- ・2段階のガス冷却方式の採用により、軽質油と重質油を分けて回収が可能です。
- ・緊急自動停止システム・強制冷却システム・オフガス燃焼システムの導入により、高い安全性を実現します。

樹脂名	略号	比重	用途	適合性
ポリプロピレン	PP	0.9	建築材料、機会ケース 他	◎
ポリエステル	PS	1.04	透明台所用品、TV 枠 他	◎
ポリエチレン	PE	0.918	包装材料、魚網延伸 他	◎
ABS樹脂	ABS	1.03~1.07	ヘルメット、掃除機、洗濯機、自動車内装 他	◎ オフガス対策
ポリウレタン	PUR	1.02	家具(机・椅子・事務) 他	△ 油化率が悪い
ポリ塩化ビニール	PVC	1.23~1.45	絶縁テープ、電線、床タイル、履物、ホス、レコト* 他	×○ ダイキシン対策
FRP	FRP	1.65~1.80	電気関係(スイッチ・ブツ)、トイレ、家具、建材 他	△ フアイバー除去

【導入するメリット/アピール・ポイント】

弊社装置は、どの様な状態の廃プラスチックでも油化処理が可能であり、PVCを含めた、幅広い種類の原料に対応出来ます。

また、他社装置には無い特別なガス冷却システムを採用している為、他社装置に比べ、油化率が高いです。併せて、非常に熱効率のより設計となっており、且つ、装置に製造した油を装置に稼働に使用出来る為、ランニングコストが安価ですみます。



今後、インドネシア共和国において興味のある事業の形態(複数可)

- Ⓐ: 製品輸出・販売 B: 現地生産(自社工場/相手先工場/他) C: 技術面等での提携先探索(含 共同研究)
D: 情報源(現地コーディネーター/ビジネス・アドバイザー)探索 E: その他(要記述)

具体的な事業形態 製品の販売、設置、組立、試運転

相手先としてイメージする企業・団体の業種・業態等 :

産業廃棄物処理業者、プラスチック製品製造業者、ゴム加工業者、廃油回収業者、その他

【導入実績】(用途)

【国内】16台、油生成、大学での実験、貴金属回収前処理 【海外】 4台、大学での研究、油生成

主な保有特許

主な受賞歴

その他、自社のインドネシア共和国における事業に関する特記事項

2014年6月、PT.伸光テックインドネシア(PT.SHINKO TECHNIC INDONESIA)設立
タンゲランで炭化設備を保有し、一般廃物の炭化を行っている。

企業情報

社名(和): 株式会社伸光テクノス

社名(英): .SHINKO TECNOS CO.,LTD.

ホームページ: <http://www.shinko-mfg.co.jp>

所在地 〒491-0043 愛知県一宮市真清田1丁目1-20

電話:(0586) 28-9461

ファックス:(0586) 24 -4502

E-mail アドレス: info@shinko-mfg.co.jp

相手国企業からの直接の問い合わせの可否:

電話: (問合せ言語 日本語・英語・インドネシア語・その他()語) ・ 不可

Mail: (問合せ言語 日本語・英語・インドネシア語・その他()語) ・ 不可

窓口(部署)

(役職)
常務取締役

(氏名)
長澤 健太郎

電話:(0586) 28-9461

ファックス:(0586) 24 -4502

E-mail: info@shinko-mfg.co.jp

これまでのインドネシアでの事業活動(複数可): (開始時期: 年 月)

A: 製品輸出・販売 B: 現地生産(自社工場/相手先工場/他) C: 技術面等での提携先探索(含 共同研究)

D: 情報源(現地コーディネーター/ビジネス・アドバイザー)探索 E: その他(要記述) F: 無し

その他記述欄:

(ICETT 使用欄)